

平成 30 年度地域に生き地域とともに歩む高校生育成事業プロジェクトプラン

学 校 名	愛媛県立新居浜南高等学校		校長 名	山 本 公 治	
生 徒 数	3 4 3 名	学級数	9 クラス	教職員 数	4 5 名
テ ー マ	別子銅山近代化産業遺産ガイドブック実践！プロジェクト ～Mine to Mind and then Mine to Do～				
テーマ設定 の 理 由	<p>四国屈指の工業都市である新居浜の基礎づくりに大きく貢献した別子銅山。新居浜には、先人たちの知恵と努力の結晶である別子銅山の近代化産業遺産が数多く現存し、先人の偉業を雄弁に語りかけてくれている。</p> <p>今年度は、その別子銅山の近代化産業遺産を教育資源と捉え、地域の人たちとの交流を通して学習した成果をガイドブックにまとめている。これを核に情報発信することで、学校や地域の魅力化につなげたい。</p> <p>プロジェクトを通して、鉱山 (Mine) の学習から、人と人との心の交流 (Mind) の絆を紡ぎ、自ら行動する人 (Mine to Do) を生み出したい。</p>				
事 業 の ねらい等	<p>現在、新居浜市は人口 1 2 万人を有しているが、その新居浜にとって課題となっているのが人口流出である。また、少子高齢化も急速に進んでおり、持続可能な地域を担う人材育成が急務となっている。</p> <p>そこで、別子銅山の近代化産業遺産の魅力をもとめたガイドブックを活用し、新居浜市民に伝える活動を通して地域の魅力を発見してもらうことで、シビックプライド (地域へ対する誇りや愛着をもつ心情) を醸成し、人口流出の歯止めや地域の振興に役立てる。また、世界に向けた情報発信活動も推進し、交流人口の増加を図る。</p> <p>ガイドブックの活用及び情報発信活動を、地域・企業・行政等との連携・協働活動に結びつけ、それらをさらに広げ深める共創のチャンスとする。</p> <p>プロジェクト体験を通して、E S D を推進しながら、生徒の自己肯定感・自己有用感を高め、未来の地域人として育成することによって、新居浜を持続発展可能な魅力あるまちにする。</p>				
事業計画 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域の歴史と文化について学び、地域をより深く理解することによって、生徒のシビックプライドを醸成する。 2 地域に出かけての積極的な情報発信により、まちの特質やよさを地域の人たちへ直接伝えることで、生徒の思考力や判断力、コミュニケーション力を養う。 3 子どもから大人まで幅広い層が参加できるようなイベントやワークショップを企画・運営することにより、まちの活性化を図るとともに、生徒の企画力や実践力を高める。(スタディーツアー、出前授業、地域活性化フェスタ等) 4 プロジェクト体験を通して、社会的役割を果たし、問題解決能力を身に付けると同時に地域に貢献し、持続可能な地域を担う人材育成を図るとともに、地域、学校の魅力化を目指す。 				

	実施月	事業の具体的内容	協力者(関係団体等)
事業計画 内 容 (31年度)	4	1年次生「遠足」 マイントピア別子への遠足に伴う事前学習会	住友各企業 東予信用金庫 マイントピア別子
	5	2年次生「ライフスタディⅠ」 「別子銅山フィールドワークⅡ in 山根」事前学習会	えんとつ山倶楽部 愛媛県東予地方局 新居浜市
	6	1年次生「産業社会と人間－新居浜の歴史と地方創生－」	別子銅山記念館 新居浜ユネスコ協会
	5～8	別子銅山近代化産業遺産現地調査・ガイドブック改訂	愛媛新聞 ハートネットワーク
	5～8	別子銅山稼働時の体験者からの聴き取り調査	別子銅山記念図書館 高齢者生きがい創造学園
	6～8	別子銅山産業遺産創造塾の受講（新居浜市） TOYO歴史・文化ガイド養成講座の受講（愛媛県）	新居浜まちこし委員会 別子銅山の歴史を学ぶ会
	7～8	地域のイベント等での学習成果発表 地域の企業のロビー等でのパネル展	新居浜商工会議所 新居浜市観光協会 市内全中学校
	9	改訂版ガイドブックの印刷・製本 県・市教育機関、観光施設等への配布	(11 中学校)
	8	新規採用教員地域研修「別子銅山登山」	新居浜市角野公民館 新居浜市立角野小学校 新居浜市立惣開小学校
	8	新居浜市高齢者生きがい創造学園での生涯学習講座	まちづくり協働オフィス
	10	別子銅山近代化産業遺産旅行ツアー 「あかがねの道スタディーツアー」	
	10	夏井いつき俳句 ing walking in 別子銅山でのガイド	
	10	市内中学生との別子銅山登山事前学習会 および登山フィールドワーク	
	11	1年次「産業社会と人間」 「別子銅山フィールドワークⅠ in 旧広瀬邸」事前学習会	
	12	角野小学校6年生児童フィールドワーク 「高校生といっしょに別子銅山を探検しよう！」	
	1	学習成果発表会 (新居浜市市民文化センター)	

	経費項目	金額	積算基礎
所要経費 (31年度)	報償費	25,000円	講師謝金 13,000円×1人×1時間=13,000円 6,000円×1人×2時間=12,000円
	旅費	32,000円	講師旅費 10,000円×1人×1回=10,000円 5,000円×1人×1回=5,000円 引率旅費 500円×2人×7回=7,000円 1,000円×2人×5回=10,000円
	需用費	939,900円	ガイドブック印刷・製本費 749,900円 調査資料制作費 10,000円 ボランティアガイドおよびワークショップ用 パンフレット作成費(用紙・インク代) 100,000円 文具購入費 30,000円
	役務費	3,100円	ガイド用ジャンパー 10,000円×5着=50,000円 郵送料 62円×25件×2回=3,100円

合計	1,000,000円
----	------------

- 注1 生徒数、学級数、教職員数については、平成30年5月1日現在とする。
- 2 経費項目については、報償費、旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料とし、1校当たり100万円程度を想定したものとする。
- 3 報償費(1時間当たりの講師謝金)については、県外の大学教授・准教授13,000円、県外のその他の講師・県内の全ての講師6,000円とする。
- 4 参考となる資料があれば、添付すること。
- 5 行が不足する場合は必要に応じて追加してもよいが、片面3枚以内とする。